



カワセミ通信

つうしん No.177

2月



発行：彩湖自然学習センター（みどりパル） 発行日 2026.2

季節のいきもの

1階の魚たち③

これまで6種類（ミナミメダカ、カワアナゴ、ヌマチチブ、ドジョウ、オイカワ、ムサシトミヨ）の魚を紹介してきました。今回はコイやギンブナ、ニゴイそして去年新しく仲間に加わったタイリクバラタナゴをみなさんにお紹介します。

コイ・・・日本全国に分布し、河川の中流や下流の流れが緩やかな場所で生息しています。雑食性で泥の中の貝類や水生昆虫、小魚、水草など何でも食べる食いしん坊です。特徴は口の横にある2対の口ひげで、すぐにコイとわかります。

ギンブナ・・・別名マブナとも呼ばれ日本全国に生息しています。河川の下流域やため池、農業用水路などで見られます。雑食性で川底にいる小動物、水生昆虫、藻類などを食べます。また、ほとんどがメスで、オスはとても少ないです。

ニゴイ・・・日本だけに生息している固有種で河川の中流、下流また下流から淡水と海水が混ざる汽水域にまで生息しています。雑食性で川底の小動物、水生昆虫や小魚などを食べます。特徴は、1対の口ひげとほっそりした体形にキツネ顔です。その顔を大水槽で探してみてください。



コイ



ギンブナ



ニゴイ

タイリクバラタナゴ・・・河川の下流域や池などに生息しています。小動物や付着藻類などを食べる雑食性です。メスは、ドブ貝などの二枚貝に産卵管を伸ばして卵を産みます。名前の由来は、繁殖期になるとオスの体が美しくバラ色に変化するためバラタナゴと名前が付きました。

4種類の魚たちは、どれも特徴があって見ていると楽しい魚です。ぜひセンターに足を運んで見に来てくださいね。（S.T）



タイリクバラタナゴ

イベント案内

自然写真展
「彩湖・自然にカシャッ！」
に来てね！



～春の特別企画～自然写真展「彩湖・自然にカシャッ！」

彩湖周辺で見られる自然界の生き物たちの姿や、四季折々の自然風景などを記録した色彩豊かな写真展です（下の写真は昨年度出品作品の一部です）。※申込不要

開催期間：3月1日(日)～5月6日(水・休) 場所：彩湖自然学習センター4階学習室

期間中の休館日：3月9日(月)、23日(月)、30日(月)、31日(火)、4月13日(月)、
27日(月)、30日(木)



彩湖自然学習センター(みどりパル)

〒335-0031 埼玉県戸田市内谷 2887 番地

Tel:048-422-9991 FAX:048-422-9993

開館時間 10:00～16:30

休館日 毎月第2・4・5月曜日(祝日を除く)

月末(土・日・祝日を除く)

※詳しくは彩湖自然学習センター
ホームページをご覧ください。



[\(https://www.city.toda.saitama.jp/site/saiko/\)](https://www.city.toda.saitama.jp/site/saiko/)

